

No. 488
2012年
3月

OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-13-5 サン・チカビル 7F
電話 (03)3851-6100 Fax (03)3851-6055
<http://www.orsj.or.jp/>

● 会告：公益社団法人としてスタートしました

一昨年より、公益社団法人化移行の方針のもと、鋭意検討・準備を進めて参りました。昨年8月に内閣府へ申請、同12月認定内示と進み、3月1日より、「公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会」として新たなスタートとなりました。これにより、学会の社会的信用は従来以上に高まりますが、その分責任と制約も大きくなります。

これまで以上に、研究・普及活動に力を注ぎ、次の課題に重点的に取り組むこととします。

- (1) 公益法人としてのガバナンスの強化
- (2) 会員の増強、拡大
- (3) 黒字化と財政基盤の強化

会員各位の一層のご協力・ご支援をお願い致します。
平成24年3月1日 会長 数土文夫

● 日本OR学会 学生論文賞論文募集

OR学会の発展は、将来の優秀なOR研究者およびOR実務担当者の養成いかにかかっています。その一助として、日本OR学会は、昭和58年度より、ORに対する学生の関心を高めかつ大学におけるOR関係学科間での情報交流にも役立てるため、学生会員の卒業論文、修士論文の中から、毎年優秀なものを選び、「日本OR学会学生論文賞」として表彰しております。

つきましては、今年度も以下の応募要領で広く学生会員から論文を募集することにいたしましたので、奮ってご応募ください。また、指導教員の会員の皆様にも是非指導しておられる学生会員の方々に応募をお勧めくださいますようお願い申し上げます。

応募資格

平成24年3月に学部を卒業、あるいは修士課程を修了する会員で、引き続き学生会員あるいは正会員である者。

応募手続

- (1) 提出書類

詳しくは、学会WEB <http://www.orsj.or.jp/whatisor/award6.html> を参照のこと。

①卒業論文あるいは修士論文の論文要約、及び本論文を別ファイルとして、応募される学生からPDFで送付してください。詳しくは学会のホームページをご覧ください。

②学生会員である指導教員の推薦状1部を、指導教員から送付してください。推薦状は、学会WEBからダウンロードして下さい。

(2) 送付先：学会事務局 E-mail:jimukyoku@orsj.or.jp

(3) 応募締切：平成24年3月31日

表彰

受賞者には、OR学会研究発表会その他適当な機会に賞牌を授与して表彰するとともに、受賞論文の要約をOR誌に掲載します。

● 第67回シンポジウム

日時：2012年3月26日(月) 13:00～17:40

場所：防衛大学校 総合情報図書館AVホール

実行委員長：宝崎隆祐（防衛大学校）

テーマ：「災害対処の施策とOR」

プログラム：

13:00～13:05 開会挨拶

第一部 「災害対処の実情」

13:05～13:55 「東日本大震災への対応：成功譚と大失敗因の探求」 東原紘道（防災科学技術研究所 地震防災フロンティア研究センター元所長）

13:55～14:45 「東日本大震災における自衛隊統合任務部隊の活動」 池田和典（防衛省統合幕僚監部）

14:55～15:45 「地方自治体での防災対策の実際」 小貫和昭（横須賀市市民安全部）

第二部 「災害へのOR的備え」

15:45～16:35 「筑波大学による茨城県内自治体震災復興支援事業」 大澤義明（筑波大学）

16:45～17:35 「東日本大震災被害の概要とサーベイ調査分析」 大山達雄（政策研究大学院大学）、村木宏壽（(株)サーベイリサーチセンター）

17:35～17:40 閉会挨拶

事前振込み参加費：正・賛助会員 3,000円、学生会員 1,000円、非会員 4,000円（3月10日締切）

当日申込み参加費：正・賛助会員 4,000円，学生会員 1,000円，非会員 5,000円

特典利用：個人正会員（2012年度年会費納入済みの方）は、春・秋開催のうち年1回に限り、シンポジウム参加費が無料となります。特典利用には事前申込が必要です。シンポジウムのみご参加の場合はOR学会事務局宛（E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp）までご連絡ください。研究発表会にもご参加の場合は、1月号綴込みの振込用紙「特典利用」を○で囲み、研究発表会参加費をお振込みください。

シンポジウム関連問合せ先：

E-mail: nc2012s@orsj.or.jp

* 詳しくは、<http://www.orsj.or.jp/nc2012s/symposium.html> をご覧下さい。

● 2012年春季研究発表会

日 程：2012年3月27日(火)、28日(水)

場 所：防衛大学校

実行委員長：山田武夫（防衛大学校）

特別テーマ：「東日本大震災：復興への道とOR」

特別講演：（参加費無料）

・五百旗頭 眞氏（防衛大学校学校長）

「東日本大震災とその復興」

・荻本和彦氏（東京大学 生産技術研究所 特任教授）

「エネルギー需給の将来を考える—エネルギーインテグレーション」

事前振込み参加費：正・賛助会員 6,000円，学生会員 1,000円，非会員 8,000円（3月10日締切）

当日申込み参加費：正・賛助会員 7,000円，学生会員 2,000円，非会員 10,000円

登壇料：非会員のみ（学生を含む）参加費と別途2,000円/件（本学会の許可が必要）

賛助会員の方へ：

賛助会員の方は、正会員参加費と同額にてご参加いただけます他、口数に応じて研究発表会に無料で参加できます。発表会受付にて名刺をご提示いただき、アブストラクト集をお受け取りください。なお、ご欠席の場合は、大会終了後に研究発表会アブストラクト集をお送りいたします。

懇親会：3月27日（火）

・場所：よこすか平安閣

・会費：事前振込み5,000円，当日申込み6,000円

見学会：

・テーマ：「戦艦『三笠』と護衛艦に乗って学ぶ『坂の上の雲』と日本海海戦」

・日時：3月29日(木) 9:45～15:30

・場所：記念艦「三笠」及び海上自衛隊横須賀基地停泊の護衛艦

* なお、護衛艦見学は、天候等や部隊側の都合により急遽取り止めとなる場合がありますことをご了承ください。

・会費：700円

問合せ先：2012年春季研究発表会実行委員会 E-mail: nc2012s@orsj.or.jp

* 詳しくは、<http://www.orsj.or.jp/nc2012s/> をご覧下さい。

● 第29回企業事例交流会

趣 旨：OR学会企業事例交流会とは、企業のOR実務担当者にOR実施例（問題の発生からさまざまな苦労を経て解決に至る苦労話など）を新規研究の発表という形式ではなく、ORの適用事例という形式で発表していただき、学識者の方、他企業の方と意見交換をしていただく場です。

日 時：2012年3月27日(火) 11:30～12:30、15:30～16:30

場 所：防衛大学校 防衛学館 112番教室

<http://www.orsj.or.jp/nc2012/access.html>

参加方法：研究発表会のセッションとして行いますので、研究発表会参加の手続きをして下さい。

プログラム（*は発表者）

11:30～12:00

「東日本大震災におけるGIS（地理空間情報システム）の活用事例」

* 濱本両太（ESRIジャパン(株)）

12:00～12:30

「災害対応のロジスティクス支援システム～被害予測及び被害情報収集システムを活用した事前・事後対策支援～」

* 矢野夏子，齊藤努（(株)構造計画研究所）

15:30～16:00

「サプライチェーンを考慮した地震被害予測と簡易地震リスク評価」

* 奈良岡浩二，藤川智，奥村俊彦（清水建設(株)）

16:00～16:30

「災害で見直されるグローバルSCMのあり方「機敏でしなやかな攻守共通のビジネス基盤の整備」へ」

藤野直明, 森本教稔, *梅田小矢佳 ((株)野村総合研究所)

問合せ先: 日本IBM 米沢 隆 (yonezat@jp.ibm.com)

* 詳しくは, <http://www.orsj.or.jp/nc2012s/> をご覧ください.

● 第68回シンポジウム

日 程: 2012年9月11日(火)

場 所: 南山大学

実行委員長: 鈴木敦夫 (南山大学)

● 2012年秋季研究発表会

日 程: 2012年9月12日(水)~13日(木)

場 所: Winc Aichi (名古屋駅前)

● 会合案内

【第316回 新宿OR研究会】

日 時: 2012年3月21日(水) 12:00~14:00

テーマ: 「クラウド・コンピューティング—最新動向と今後の展望—」

講 師: 浦本直彦氏 (日本アイビーエム(株) 東京基礎研究所サービスイノベーションラボラトリーマネージャー)

場 所: 東天紅会議室 (新宿センタービル53F)

参加費: 3,000円 (事前にメールにてお申し込みください.)

問合せ先: 日本OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp TEL 03-3851-6100

● 他学協会協賛案内

他学会等が主催する大会やシンポジウムで当学会が協賛しているものについては, 原則として主催学会の会員と同じ費用で参加できますので, 皆様奮ってご参加ください.

・日本品質管理学会 第139回シンポジウム

日 程: 2012年3月13日(火) 10:00~17:00

主 催: (社)日本品質管理学会 (JSQC)

テーマ: 「ものづくりのグローバル化と現地化~世界のどこで作っても「日本の高品質」を提供する品質管理~」

場 所: 日本科学技術連盟 東高円寺ビル2階講堂 (東京都杉並区高円寺南1-2-1)

後 援: (財)日本科学技術連盟, (財)日本規格協会,

経営工学関連学会協議会 (FMES) (依頼中)

WEB: <http://www.jsqc.org/q/news/events/index.html#120313>

・日本信頼性学会 第20回春季信頼性シンポジウム

日 程: 2012年6月11日(月)

主 催: 日本信頼性学会 (REAJ)

場 所: (財)日本科学技術連盟 千駄ヶ谷本部ビル

問合せ先: 日本信頼性学会事務局 E-mail: reaj@juse.or.jp

WEB: <http://www.reaj.jp/modules/eguide/index.php>

・第42回信頼性・保全性シンポジウム

日 程: 2012年7月12日(木)~13日(金)

主 催: (財)日本科学技術連盟

場 所: 日本教育会館 (東京・千代田区一ツ橋2-6-2) <http://www.jec.or.jp/>

テーマ: 「イノベーションと信頼性」

後 援: 日本信頼性学会

WEB: <http://www.juse.or.jp/reliability/142/>

● 公募案内

・青山学院大学理工学部経営システム工学科

募集人員: 助手または助教1名

所 属: 理工学部経営システム工学科

専門分野: 経営工学 (統計的品質管理または生産工学)

教育担当: 学部生向け経営システム工学の実験・演習科目, 品質管理関連科目, 計算機関連科目, 卒業研究・修士研究の指導補佐など

応募資格:

- (1) 上記の科目が担当可能であり, 学部および大学院の教育・研究に熱意があること.
- (2) 助手の場合は博士または修士の学位を有するか取得見込みであること.
- (3) 助教の場合は博士の学位を有するか取得見込みであり, 相模原と青山の両キャンパスに出講できること.
- (4) キリスト教に理解があること.

着任時期: 2012年9月1日

任 期: 任期1年 (但し助手は1年更新で2回まで, 助教は1年更新で4回まで規定により更新可能)

提出書類:

- (1) 自筆履歴書 (市販用紙に写真添付)
- (2) 研究業績リスト (著書, 学術雑誌論文 (査読付),

国際会議論文（査読付）、特許、外部資金獲得状況、総説および解説、学術講演・研究発表等に分類）

- (3) 代表的な学術雑誌論文3編までを添付（別刷またはコピー）
- (4) 応募する専門分野および現在までの研究概要ならびに教育・研究に関する抱負（1500字以内）
- (5) 確実かつ支障なく連絡のできる連絡先・連絡方法

応募締切：2012年4月10日（火）消印有効

書類送付及び連絡先：

〒252-5258 神奈川県相模原市中央区淵野辺5-10-1
 青山学院大学理工学部経営システム工学科 学科主任 石津 昌平

電話 TEL: 042-759-6305(直通),

E-mail: saiyo@ise.aoyama.ac.jp

*封筒に「教員採用関係書類在中」と朱書きし、書留郵便で郵送してください。なお、応募書類は原則として返却しません。

*詳しくは、<http://www.ise.aoyama.ac.jp>をご覧ください。

●平成24年度年会費納入のお願い（事務局）

平成24年度年会費の請求書を11月に発送いたしました。定款細則第6条に基づき、納入期限は平成23年12月までとなっておりますので、お早めにご入金くださいますようお願いいたします。

*OR学会の事業年度は3月～翌年2月までです。

 預金口座自動振替の方は1月20日に引き落としが終わりました。預金口座振替をご希望の方は、下記までメールにてご連絡ください。（正会員のみ）

年会費についてのお問合せ先（会員業務窓口）

Tel: 03-5389-0235

E-mail: orsj-post@bunken.co.jp

●新入会員（2012年1月理事会承認分）

—正会員—

- *水野 隆文 名城大学〔中部支部〕
- *鴨居 達哉 日本アイ・ピー・エム（株）
- *滝沢 壽樹 （社）日本OR学会事務局

—学生会員—

- *小林 直丘 工学院大学大学院
- *大野 航 工学院大学大学院
- *永田 真一 明治大学
- *高橋 里司 筑波大学大学院
- *大砂 裕樹 サレジオ工業高等専門学校
- *佐藤 寛之 京都大学〔関西支部〕
- *茂呂 浩平 放送大学大学院

*支部表記のない方は本部所属です。